

令和 3 年度

深川市の予算の概要

- 令和3年度 深川市各会計予算前年度対比表 【1 P】
- 令和3年度 深川市一般会計歳入歳出予算 【2 P】
- 深川市の財政状況（主要財源、地方債、基金） 【4 P】
- 令和3年度の新たな予算付け及び重点事業8つの取り組み 【5 P】

1. 新型コロナワクチン接種事業の実施
2. 深川市新庁舎の建設
3. 第6次深川市総合計画の策定
4. デマンド交通実証実験の実施
5. 男性のための介護予防教室の実施
6. 高齢者等ごみ出し支援事業の実施
7. 深川市立高等看護学院の建設
8. 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車の導入
9. その他の主な事業

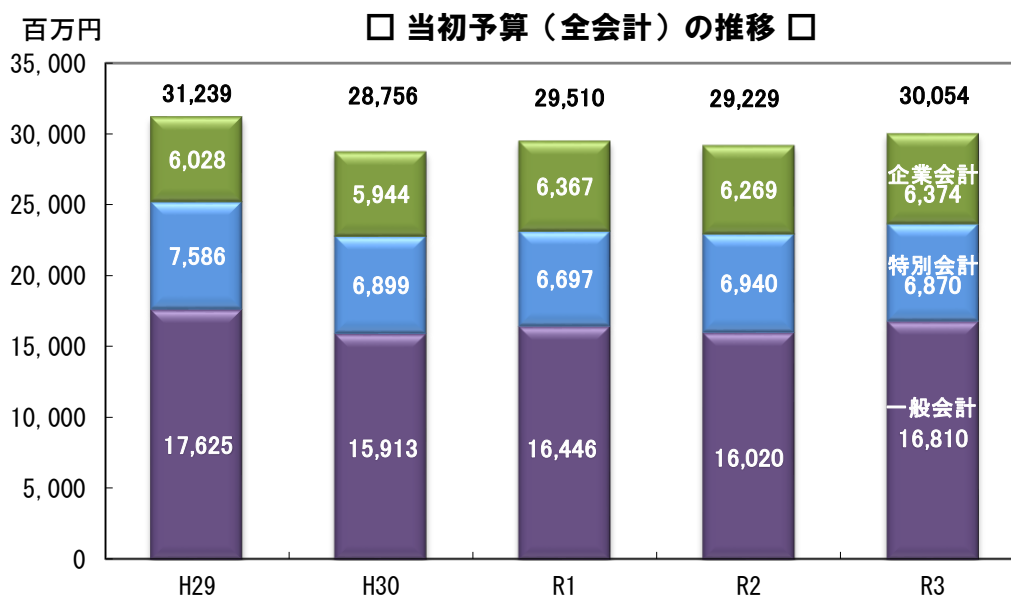


令和3年度 深川市各会計予算前年度対比表

(単位：千円・%)

会 計 別		本年度予算額 A	前年度予算額 (当初) B	増 減 額 (A - B) C	増 減 率 (C / B)
一 般 会 計		16,810,000	16,020,000	790,000	4.9
特別会計	介護保険	2,233,000	2,308,000	△ 75,000	△ 3.2
	国民健康保険	3,056,000	3,107,000	△ 51,000	△ 1.6
	後期高齢者医療	413,700	396,400	17,300	4.4
	農業集落排水	181,400	177,000	4,400	2.5
	下水道	986,000	951,700	34,300	3.6
	小 計	6,870,100	6,940,100	△ 70,000	△ 1.0
企業会計	水道	879,800	868,200	11,600	1.3
	病院	5,494,028	5,400,417	93,611	1.7
	小 計	6,373,828	6,268,617	105,211	1.7
合 計		30,053,928	29,228,717	825,211	2.8

※企業会計予算は＜収益的収入と支出＞と＜資本的収入と支出＞のそれぞれ多い方を加算したものです。



令和3年度 深川市一般会計歳入歳出予算

【歳入】

(単位：千円・%)

区 分 款 別	令和3年度		令和2年度		当初予算の比較	
	予 算 額 A	構成比	予 算 額 B	構成比	増 減 額 (A - B) C	増減率 C / B
1. 市税	2,114,718	12.6	2,155,340	13.5	△ 40,622	△ 1.9
2. 地方譲与税	209,554	1.2	238,552	1.5	△ 28,998	△ 12.2
3. 利子割交付金	1,200	0.0	2,700	0.0	△ 1,500	△ 55.6
4. 配当割交付金	4,800	0.0	4,700	0.0	100	2.1
5. 株式等譲渡所得割交付金	6,000	0.0	2,600	0.0	3,400	130.8
6. 法人事業税交付金	8,000	0.1	10,000	0.1	△ 2,000	△ 20.0
7. 地方消費税交付金	490,000	2.9	500,000	3.1	△ 10,000	△ 2.0
8. ゴルフ場利用税交付金	800	0.0	1,000	0.0	△ 200	△ 20.0
9. 環境性能割交付金	10,000	0.1	18,000	0.1	△ 8,000	△ 44.4
10. 地方特例交付金	25,100	0.2	12,400	0.1	12,700	102.4
11. 地方交付税	6,785,000	40.4	6,665,000	41.6	120,000	1.8
12. 交通安全対策特別交付金	2,600	0.0	2,800	0.0	△ 200	△ 7.1
13. 分担金及び負担金	118,124	0.7	123,518	0.8	△ 5,394	△ 4.4
14. 使用料及び手数料	249,461	1.5	251,991	1.6	△ 2,530	△ 1.0
15. 国庫支出金	1,871,788	11.1	1,695,221	10.6	176,567	10.4
16. 道支出金	1,293,302	7.7	1,242,047	7.7	51,255	4.1
17. 財産収入	34,195	0.2	38,625	0.2	△ 4,430	△ 11.5
18. 寄附金	400,854	2.4	356,202	2.2	44,652	12.5
19. 繰入金	198,741	1.2	218,037	1.4	△ 19,296	△ 8.8
20. 繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
21. 諸収入	712,962	4.2	715,466	4.5	△ 2,504	△ 0.3
22. 市債	2,272,800	13.5	1,765,800	11.0	507,000	28.7
歳入合計	16,810,000	100.0	16,020,000	100.0	790,000	4.9

【歳 出】

(単位：千円・%)

区 分 款 別	令和 3 年度		令和 2 年度		当初予算の比較	
	予 算 額 A	構成比	予 算 額 B	構成比	増 減 額 (A－B) C	増減率 C／B
1. 議会費	110,109	0.7	110,306	0.7	△ 197	△ 0.2
2. 総務費	908,436	5.4	555,737	3.5	352,699	63.5
3. 民生費	3,094,141	18.4	3,133,417	19.6	△ 39,276	△ 1.3
4. 衛生費	2,909,105	17.3	2,362,878	14.7	546,227	23.1
5. 労働費	15,973	0.1	20,640	0.1	△ 4,667	△ 22.6
6. 農林水産業費	1,451,398	8.6	1,422,314	8.9	29,084	2.0
7. 商工費	664,408	3.9	683,265	4.3	△ 18,857	△ 2.8
8. 土木費	1,880,106	11.2	1,741,924	10.9	138,182	7.9
9. 消防費	530,689	3.2	661,343	4.1	△ 130,654	△ 19.8
10. 教育費	928,894	5.5	1,065,007	6.6	△ 136,113	△ 12.8
11. 災害復旧費	1,864	0.0	2,108	0.0	△ 244	△ 11.6
12. 公債費	2,245,119	13.3	2,130,002	13.3	115,117	5.4
13. 諸支出金	26,663	0.2	31,920	0.2	△ 5,257	△ 16.5
14. 職員費	2,033,095	12.1	2,089,139	13.0	△ 56,044	△ 2.7
15. 予備費	10,000	0.1	10,000	0.1	0	0.0
歳出合計	16,810,000	100.0	16,020,000	100.0	790,000	4.9

深川市の財政状況（主要財源、地方債、基金）

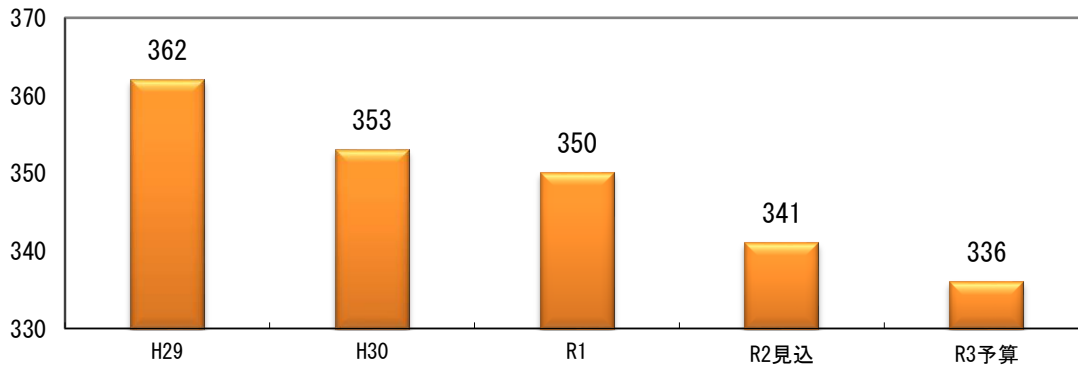
1. 令和3年度一般会計予算と主要財源

（単位：百万円）

区 分		本年度予算	前年度予算	増減額	増減率
一般会計予算総額		16,810	16,020	790	4.9%
主要財源	市税	2,115	2,155	△ 40	△1.9%
	うち市民税	932	944	△ 12	△1.3%
	うち固定資産税・都市計画税	931	952	△ 21	△2.2%
	地方交付税	6,785	6,665	120	1.8%
	普通交付税	5,945	5,925	20	0.3%
	特別交付税	840	740	100	13.5%
	国庫支出金	1,872	1,695	177	10.4%
	道支出金	1,293	1,242	51	4.1%
	市債	2,273	1,766	507	28.7%
	うち過疎債（ハード・ソフト）	1,182	1,107	75	6.8%
	うち臨時財政対策債	420	270	150	55.6%

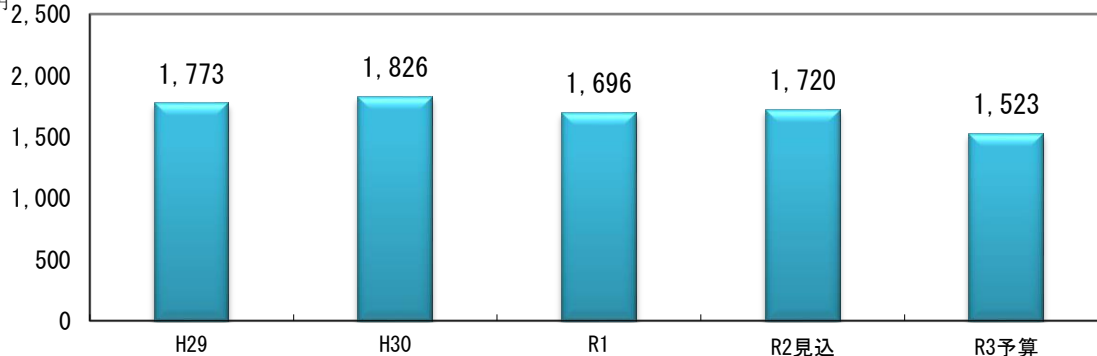
2. 地方債残高（全会計）

億円



3. 基金残高（特別会計基金、土地開発基金、育英基金を除く）

百万円



令和3年度新たな予算付け及び重点事業 8つの取り組み

新型コロナワクチン接種事業の実施

予算額 72,530 千円



市民のみなさんが安全・安心に接種ができるよう体制を整備し、円滑な実施に努めます。

深川市新庁舎の建設

予算額 410,457 千円



令和5年度の新庁舎の完成を目指し、建設工事に着手します。

第6次深川市総合計画の策定

予算額 1,001 千円



令和4年度から令和13年度の10年間を計画期間とする第6次深川市総合計画を策定します。

デマンド交通実証実験の実施

予算額 3,204 千円



路線バスの代替交通や公共交通空白地域の移動手段の確保を目的に、デマンド交通の実証実験を実施します。

男性のための介護予防教室の実施

予算額 2,706 千円



地域でアクティブシニアの活動の場を広げることを目的に男性を対象にした介護予防教室を開催します。

高齢者等ごみ出し支援事業の実施

予算額 1,404 千円



家庭からゴミステーションまでごみを出すことが難しい高齢者の方や障がい者の方のごみ出しを支援します。

深川市立高等看護学院の建設

予算額 616,373 千円



高等看護学院の建設（建設事業3年次の3）を継続します。

災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車の導入

予算額 85,058 千円



救助用資機材などを搭載した水槽付消防ポンプ自動車に更新します。

令和3年度 組織機構の見直し

○「健康・子ども課」の設置

子育て支援に係る業務の集約化と相談窓口の一本化を図るため、現在の「社会福祉課子育て支援推進室」と「健康福祉課」を統合して「健康・子ども課」を設置します。

○「デジタル推進室」の設置

国が進めるデジタル社会の形成に向けた施策を本市においても積極的に推進するため、現在の「総務課情報システム係」を改称して「総務課デジタル推進室」を設置します。

新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施

① ワクチン接種のながれ

接種券の送付



接種券は大切に
保管してください

市指定コールセンターに電話予約して、ワクチンを受ける

医療機関個別接種

■ 深川市立病院
■ 市内医療機関
(実施医療機関は調整中)

集団接種

■ 健康福祉センター
「デ・アイ」
(日程等は調整中)

入院・入所中の施設内で接種

■ 高齢者施設等
(院内医師や外部の
嘱託医による対応)



【令和3年度予算額 72,530 千円】

- ・委託料（接種費用） 49,210 千円
- ・委託料（コールセンター） 8,296 千円
- ・人件費（日々雇用等） 7,004 千円
- ・備品及びその他の費用 8,020 千円

【令和2年度予算額（12月補正） 5,022 千円】

- ・委託料（クーポン券印字等） 2,235 千円
- ・委託料（システム改修費） 959 千円

【令和2年度予算額（3月補正） 1,947 千円】

- ・工事請負費（電話回線工事） 1,150 千円
- ・備品購入費（パソコン等） 272 千円

ワクチンの効果を十分に得るため、1人2回接種（3～4週間あけて）する必要があります

② 接種スケジュール

	2月	3月	4月	5月	6月
高齢者 (65歳以上)		体制 確保	接種券 送付	4月以降接種開始	
高齢者以外 (16歳～64歳)			接種券 送付	基礎疾患のある方から 優先に接種開始	

※スケジュール等は変更の
可能性があります。



令和3年度予算説明資料 深川市市民福祉部 健康福祉課

深川市新庁舎の建設

令和3年度予算説明資料

深川市企画総務部総務課庁舎建設推進室

新庁舎建設については、現庁舎が抱える老朽化や耐震性能の不足などの課題の解消に向け、「深川市新庁舎建設基本計画」に基づく基本設計を令和2年11月に策定し、現在、実施設計の策定を進めており、市民の安全・安心を支えるため、防災拠点としての機能強化を図るとともに、市民に親しまれ利用しやすい庁舎の実現に向けて、令和5年度の完成を目指し、建設工事に着手します。



外観イメージ（外観は現段階のイメージです）

主な経過（令和元～2年度）

令和元年5月31日

深川市庁舎整備の検討に向けた諸課題を策定

令和元年6月

深川市庁舎整備検討会議を設置（市民20人）

令和元年7月

深川市議会において深川市議会庁舎整備特別委員会を設置

令和元年11月27日

深川市新庁舎建設基本計画を策定

令和2年2月

基本設計・実施設計の委託業者を選定し、新庁舎建設に係る設計業務に着手

令和2年11月30日

深川市新庁舎建設基本設計を策定（実施設計に着手）

令和3年度 予算概要

令和3年度予算額 410,457千円

（内訳）

- 基本設計・実施設計業務委託（3年目） 25,708千円
- 庁舎周辺施設解体工事等（準備工事） 92,200千円
- 新庁舎建設工事 280,000千円
- その他（各種業務委託、各種申請手数料、事務経費等） 12,549千円

新庁舎の概要

- 建設位置 深川市2条17番（現庁舎敷地内）
- 延床面積 6,421㎡
- 階数 地上4階
- 構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造（耐震構造）
- 駐車場 136台
- 概算事業費 49億3,000万円

整備スケジュール（予定）

2021 年度（R3）	2022 年度（R4）	2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）
実施設計	新庁舎建設工事（20カ月）		移転準備	
準備工事	外構工事、旧庁舎等解体工事等			
（庁舎周辺施設解体、仮設公用車庫整備、給排水管盛替等）				

第6次深川市総合計画の策定

※計画期間 R4年度～R13年度(2022～2031)

検討体制

内部検討 ～ 総合計画策定委員会

■市長、副市長、教育長、部長職等で構成
課長職にて「総務経済部会」と「厚生文教部会」を設置

■R3当初予算 1,001千円 報償金350千円、・需用費602千円、・使用料等49千円
※前回H23(1,016千円)と同規模予算

外部検討～新しいまちづくり市民協議会

■関係団体選出者21名、
公募4名の計25名で構成
・2部会制とし、策定委員会の部会と連動
・協議会、部会に分けて開催

その他

・まちづくりアンケート
・市民の意見を聞く会
・総合計画調査特別委員会 ※想定
・パブリックコメント etc

方針案

基本方針案：従来の枠組みは維持しつつ、
新たな時代の潮流を捉える

策定作業は①～④の考え方で進める……

①枠組みは維持

(1) 現計画の基本構成となっている……

・「四つの基本的なまちづくりの分野(以下四分野)」とひもづく「58の施策体系」の
枠組みについては、維持しつつ現状や課題を踏まえて必要な見直しを図る

②既存計画との整合性と位置づけ

- (1) 次期計画と各計画の内容に整合性を持たせる
- (2) 分野横断的な計画を「重点計画」に位置付ける
・総合戦略、人口ビジョン、強靱化計画、新過疎計画
- (3) 四分野にひもづく46の「個別計画」を体系的に整理
・個別計画は実施計画的なイメージ

③SDGs(持続可能)を共通行政手法に

- (1) 2016～2030年までを対象期間とした世界の共通目標
・近年、国、都道府県、企業等が積極的に導入し、多くの自治体計画にも搭載
- (2) 本市も最上位計画にSDGsを盛り込み、次期計画期間中において、各個別計画の
改定時にSDGsの観点の導入検討
- (3) 次期計画では四分野にSDGsゴールを設定

④必要な強化

- (1) 人口減少に必要な対策
- (2) 地方創生の新たな視点、
- (3) 新過疎法の重点分野など

・ポストコロナ社会 ・田園回帰 ・関係人口 ・働き方改革 ・防災減災、国土強靱化
・超高齢化社会 ・少子化 ・Society5.0 ・誰もが活躍できる社会 ・担い手不足
・海外から稼げる地方 ・コンパクトプラスネットワーク ・空地空家 etc

スケジュール

状況整理&体制整備

<2～3月
現計画状況整理>
・策定委員会の設置
・主要事業年表
・各種計画体系図

<3～4月
関係団体依頼>
・推薦依頼、公募

外部意見集約&案作成&完成

<4～5月 内部骨子素案作成>
・現計画を基に各計画と整合
<6～9月 外部意見集約>
・アンケート、部会&協議会、
市民の意見を聞く会等

<7～9月 内部計画検討案作成>
・骨子素案を基に新過疎計画と整合、
SDGsや外部意見の盛り込み

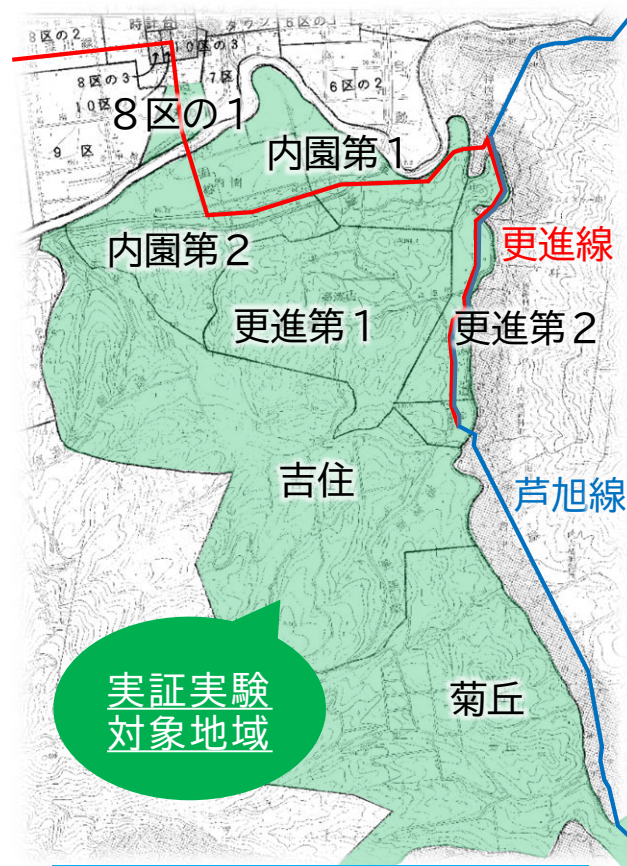
計画検討案を基に次期計画の
協議を進め、必要に応じて
肉付け

<10～3月 部会&協議会>
<12～1月 特別委員会※想定>
<1月下旬～2月下旬 パブコメ>
<3月 策定委員会にて完成>

路線バス「更進線」及び「芦旭線」の代替交通として、デマンド交通実証実験を1年間実施

1. 実証実験の概要

- 検討体制 深川市地域公共交通活性化協議会（道路運送法に基づく法定会議）
- 目的 ①地域住民にとってより利用しやすい公共交通サービスの導入（路線バスの代替交通）
②公共交通空白地域における移動手段の確保
- 運行方式 ドア・ツー・ドア方式（自宅前から目的地までの運送）
※（例）自宅前から乗車 ⇒ 病院や駅、市役所、スーパーなどで降車
- 運行期間 令和3年10月1日から令和4年9月30日まで（1年間）
- 対象者 ①音江地区（菊丘、吉住、更進第1・第2、内園第1・第2）
（町内会） ②納内地区（8区の1の一部 ※公共交通空白地域に限定）
- 運行回数 平日2回、土日は隔週で1回（1日に3往復6便を運行）
※予約に応じて運行（予約が無ければ運行しない）
- 利用運賃 300円～800円（距離に応じて運賃加算）
※ドア・ツー・ドア方式により、タクシーに近い利便性となるが、他の利用者と乗り合いになるため、路線バスに近い安価な運賃設定とする



2. 実施スケジュール

- 4～6月 -
事業内容
協議・決定

- 7～8月 -
運行事業者
の決定

- 9月 -
対象者向け
説明会

- 10月 -
実証実験
START

（1年間）
利用実態の調査
&
本格運行の検討

3. 実証実験に係る経費

■業務委託料	
期間：R3.10～R4.3	3,100千円
■事業周知に係る経費	104千円
■合計	3,204千円

高齢者等ごみ出し支援事業の実施

令和3年度予算説明資料
深川市 市民福祉部 高齢者支援課

1. 事業の目的

家庭系ごみを自ら集積所まで排出することが困難な高齢者や障がい者に対し、在宅生活を支援するとともに、地域のつながりや高齢者等の見守り体制の強化を図ることを目的とし、市による戸別収集または町内会や地域の協力団体等によるごみ出し支援を行います。



2. 予算の概要

令和3年度予算額 1,404千円

(内訳)

・戸別収集委託料	1,194千円
・ごみ出し協力団体への補助金	45千円
・事務経費等	165千円

※事業費の1/2は特別交付税措置。

3. 事業の概要

■対象者

要介護認定を受けている方や身体障がい者手帳の交付を受けている方など、自らごみ集積所までごみを運ぶことが困難な方で、親族等の協力を得ることができない方。

■支援方法

地域包括支援センターまたは生活支援コーディネーターが②の支援のマッチングを行う。地域の支援が得られない場合は①による支援を実施する。

①市による戸別収集

委託業者が週一回、戸別訪問しごみを回収して衛生センターに搬入する。

②地域の協力団体による支援

地域のごみ出し支援協力者（親族、営利を目的とする者を除く）が、戸別訪問しごみを回収して近くのごみ集積所へ排出する。



■収集対象のごみ

収集するごみは粗大ごみ以外とし、市指定のごみ袋を利用して分別されたごみを回収する。（回収料金は無料）

■地域のごみ出し支援協力団体への補助金

地域の協力団体による支援に対しては、利用世帯1世帯あたり1回100円（月5回まで）の補助金を交付する。



男性のための介護予防教室の実施

令和3年度予算説明資料
深川市 市民福祉部 高齢者支援課

1. 事業の目的

高齢の男性がいつまでも自分らしくいきいきと地域で生活できることを目的に、民間サービスと連携し、介護予防の必要性や栄養バランス、口腔の健康の大切さ等に関する知識の普及、運動の体験をとおして生活機能の低下を予防します。また、事業修了者が活動を継続し、地域で自発的な活動や仲間づくりなどの取り組みが主体的に実施できるよう支援し、アクティブシニアの活動の場を広げるきっかけをつくります。

2. 予算額

令和3年度予算額
2,706千円

※保険者機能強化支援交付金を活用（10/10補助）

3. 事業の概要

■対象者

前期高齢者（概ね65歳～74歳）の男性

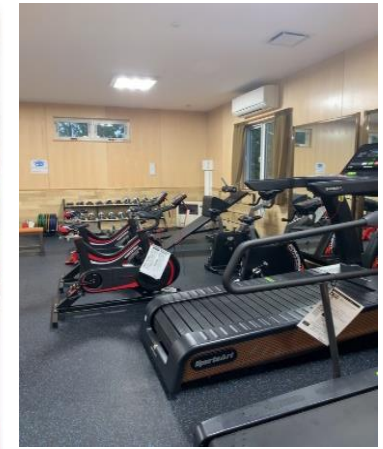
■事業内容

（1）運動講座 エフパシオ編

トレーニングルームでのレッドコードなどの運動、ノルディックウォーキングなど市内でできる活動を体験します。地域での居場所づくりや仲間づくり等、男性による地域の活動についての連続講座開催から顔の見える関係性の構築を目指します。

（2）料理講座

地域において調理をとおし、介護予防に資する自発的な活動が広く実施されるよう、料理や栄養の基本についての講座を開催します。レシピの工夫やコツについても学び、男性の活躍の機会の確保を目指します。



深川市立高等看護学院の建設事業

【事業期間:令和元年度～令和3年度】



●目的

深川市立高等看護学院は、北空知の中核病院である深川市立病院の看護師の安定的な確保に欠かすことの出来ない3年制の看護師養成所ではありますが、建築後49年が経過し相当の老朽化と耐震構造化未対応の教育施設であることから、学生の安全性の確保や修学環境の整備を図ることにより、今後も安定した学生の確保を行うために、建設事業を継続します。(3年次の3)

●事業費

【令和元年度 13,024 千円】

・基本実施設計委託料

【令和2年度 239,230 千円】

・工事請負費

【令和3年度予算額 616,373 千円】

〔 工事請負費 580,270 千円・消耗品費 1,369 千円
委託料 2,734 千円・備品購入費 32,000 千円 〕

●施設の概要

- ・建設地 深川市6条8番6号
- ・施設内容

図書室、実習室、在宅看護実習室、演習室、情報処理室、教員室、事務室、応接室、研究室、教材室、面接室、会議室、休養室、印刷室、更衣室、倉庫、講堂兼軽運動場、屋外施設（駐車場、駐輪場）など

災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車の導入

令和3年度事業費 85,058 千円

火災時に第一線で活動する消防車両のうち老朽化した消防ポンプ自動車を、救助用資機材などを搭載してより多様な運用が可能な消防車両（災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車）に更新します。

今回の更新では、複雑多様化する様々な災害に対応するため、交通事故などで車中に閉じ込められた方の救出に使用する救助用資機材、水難事故や近年全国各地で発生している大雨による洪水で入水による活動をするための水難用資機材などを搭載した車両を導入し、より一層消防体制の強化を図ります。

なお、導入車両は全国的な消防応援の制度である「緊急消防援助隊」へ登録し、要請があればさまざまな被災地で災害活動を行います。



○ 車両に搭載する主な水難・救助用資機材



油圧スプレッダー



エンジンカッター



チェーンソー



ドライスーツ
(水難用資機材)

その他の主な事業

※()内の数字は前年度予算額

・・・《 福祉・健康・医療に関する分野 》・・・・・・・・・・・・・・・・

○少子化対策出会い創出支援事業

予算額 250 千円(1,090)

少子化の要因のひとつである未婚化・晩婚化対策として、出会い創出事業を実施する団体に対する事業実施費用の一部助成を継続します。

○結婚新生活支援事業

予算額 1,200 千円(600)

婚姻に伴う経済的負担を軽減し、若い世代の結婚を後押しする施策として、住宅の取得若しくは賃貸又は引越しに係る経費を助成します。

○保育所保育料の軽減措置を継続

3号認定（満3歳未満保育認定）子どもに係る保育料について、国の徴収基準額より各階層50%軽減するとともに、入所第2子の保育料無料化等、多子世帯向け軽減を継続します。

○新生児聴覚検査費用助成事業

予算額 419 千円(480)

新生児期に先天性の聴覚障害の発見を目的として実施している「新生児聴覚検査」の費用の一部を増額して助成します。

○市立病院の医師確保対策

予算額 11,115 千円(11,787)

常勤医師の不在である診療科については、道内三医大への要請や民間会社等からの情報による、確保対策を継続して進めますが、常勤医不在の科の診療を確保するため、出張医に要する経費の一部について支援します。

○市立病院の地域医療確保対策

予算額 147,000 千円(20,000)

過疎地等で経営条件の厳しい地域において二次救急や災害時等の拠点となる中核的な公立病院に対する地方財政措置に伴い、地域医療の確保対策に要する経費の一部について支援します。

○休日・夜間の救急医療体制

予算額 43,813 千円(42,989)

休日・夜間の救急医療体制については、引き続き北空知4町及び深川医師会と連携協力し、管外からの医師確保や、近隣の医療圏との連携を図りながら「休日当番医事業」や「夜間急病テレホンセンター事業」の実施体制の維持・確保に努めます。

○特定健康診査等事業

予算額 2,058 千円(1,710)

後期高齢者医療の被保険者に対し、健康診査の周知、受診勧奨を目的に個別に受診券を送付します。また、市内個人病院での受診も可能にし、かかりつけでの受診を行えるよう体制を整備します。

……《 経済・産業に関する分野 》……………

○日本型直接支払事業の推進 (※環境保全、中山間、多面的3事業の総称)

予算額 674,972 千円(635,673)

多面的機能の発揮のための地域活動や営農の継続等に対する支援として、日本型直接支払事業を有効に活用します。

○深川未来ファームの運営支援

予算額 36,500 千円(39,500)

基幹産業である農業の担い手育成、確保や優良農地の円滑な継承を推進する(株)深川未来ファームの運営を支援します。

○道営農業農村整備事業の推進

予算額 5,200 千円(15,800)

農業を持続的に発展させるため、農地の基盤整備(区画整理や暗渠排水など)や公共性の高い基幹水利施設の整備を促進し、また事業実施に伴い発生する農家負担の軽減対策にも努めます。

○森林整備促進事業の推進

予算額 10,039 千円(10,850)

森林の整備及びその促進に関する施策の財源に充てるため譲与される森林環境譲与税を活用し、間伐等の森林整備や木材の普及啓発に努めます。

○有害鳥獣駆除

予算額 23,050 千円(20,172)

エゾシカやアライグマなどの有害鳥獣による農作物被害が問題となっている中で、関係団体と連携し、より一層の駆除の促進に努めるとともに、有害鳥獣処理施設の換気設備の増設を行い、作業環境の充実を図ります。

○地域資源活用施設におけるシードル等加工事業の推進

予算額 13,199 千円(14,174)

地域資源活用施設で製造する「ふかがわシードル」のさらなる販売の促進を図り、農産物の付加価値向上に努めます。(指定管理料を含む)

○ふるさと納税

予算額 200,001 千円(196,429)

寄附金額4億円を目標に取り組みを進めるとともに、主要作物のコメや農畜産物を使った加工品などの返礼品を有効に活用し、地場製品のPRに努めます。

○観光振興(マイクロツーリズムの推進)

予算額 14,651 千円(17,940)

コロナ禍における観光として注目されている近隣で観光を楽しむ「マイクロツーリズム」を推進し観光振興を図ります。

○若年雇用対策事業

予算額 1,500 千円(2,500)

新規学卒者等の市内での若年人材の確保に努めます。

○育児休業取得支援事業

予算額 900 千円(900)

育児休業の取得を促進するため、事業所に助成金を支給します。

……《 快適な生活基盤の構築に関する分野 》……

○市道17路線の整備

予算額 481,883 千円(432,652)

市民の皆様の円滑で快適な通行の確保のため、主要な幹線道路や生活に密着した道路の整備を促進します。

○橋梁の修繕と点検

予算額 234,000 千円(110,000)

市民の皆様が安全かつ快適に通行ができるよう、老朽化した橋梁の修繕と点検を計画的・効果的に進めます。

○狭あい私道の整備

予算額 500 千円(500)

未舗装の「私道路」を安全で安心して通行できる道路にするため、各種制度により用地の拡幅を促進し市道認定を図るとともに、砂利道の舗装整備を進め、市街地の住環境の向上に努めます。

○除排雪事業

予算額 388,703 千円(382,203)

冬期間の除排雪業務により、安全で快適な道路交通を確保します。

○除排雪オペレーター養成事業

予算額 500 千円(1,000)

除排雪に従事するオペレーターの減少により、懸念される担い手不足の対策として、市道除排雪の委託業者に助成して、継続的なオペレーターの確保に努めます。

○車両センター建設事業**予算額 35,000 千円(0)**

新庁舎建設に伴い、老朽化した除雪車両の格納庫の設計に着手します。

○河川維持管理**予算額 9,273 千円(10,751)**

河川の氾濫による浸水被害対策として、河川に堆積した土砂の除去や維持修繕に取り組み、市民の皆様の安心と安全確保に努めます。

○まちなか居住推進助成事業**予算額 25,500 千円(45,000)**

持家新築や住宅耐震改修など地域の活性化、定住の促進、まちなか居住への誘導などに努めます。

○あけぼの団地建替事業**予算額 136,473 千円(136,051)**

「あけぼの団地」の建替事業として、耐火構造平屋建て1棟4戸を建設します。

○市営住宅解体事業**予算額 22,000 千円(31,200)**

あけぼの団地4棟18戸の空き住戸を解体します。

○資源循環型社会の形成とごみの適正処理**予算額 399,289 千円(363,378)**

深川市ごみ処理基本計画に基づく、ごみ分別収集の円滑な実施により、ごみの排出抑制と資源化を推進し、ごみの適正処理に努めます。

○深川市ワーケーション事業**予算額 461 千円(714)**

新型コロナウイルス感染対策としても関心が高まっている「ワーケーション」に取り組む首都圏企業等に対し、深川型余暇活動メニューなどの提供による社員受け入れを進め、関係人口の創出に努めます。

○移住定住サポートセンターによる移住定住の促進**予算額 12,409 千円(12,460)**

「移住・定住サポートセンター」に配置した「移住コンシェルジュ」による、オンラインを併用したワンストップ相談対応のほか、「無料職業紹介事業」や「職業体験事業」の充実を図るなどして、都市部からの人の流れを創出します。

○UIJターン新規就業支援事業**予算額 2,000 千円(2,000)**

5年以上東京23区内に在住、または東京圏から23区内に通勤している方が、北海道の開設するマッチングサイトを通じて本市に移住し、就業・起業した場合に移住支援金を交付することにより、都市部からの人の流れを創出します。

○若年者定住促進奨学金返還支援事業**予算額 1,262 千円(1,840)**

市内事業所に就職した30歳未満の方を対象に、返還中の奨学金の一部を助成し、若年者の本市への移住・定住の促進と地域産業を担う人材の確保を図ります。

○地域おこし協力隊の任用**予算額 55,501 千円(28,556)**

募集活動を強化するなどして隊員の任用拡充を図り、地域の課題解決や地域力の維持・強化に取り組みます。

○光ファイバーケーブル敷設事業**予算額 16,376 千円(0)**

新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対応を進めるため、「新しい生活様式」に必要な光ファイバーケーブルの整備を行います。

……《 人材育成と教育・文化スポーツに関する分野 》……**○一已小学校非構造部材耐震化事業****予算額 3,570 千円(0)**

一已小学校屋内運動場の照明器具の耐震化を図ります。

○学習サポートプログラム**予算額 4,184 千円(4,403)**

子どもたちの学力向上に向けた取り組みである、放課後教室や長期休業中の学習支援(チャレンジ深川)について充実を図ります。

○ICTを活用した教育の推進**予算額 3,884 千円(0)**

令和2年度に整備した学習者用タブレットを活用した教育を推進するために、小学校に指導者用デジタル教科書を導入するとともに、GIGAスクールサポーターを配置することで教職員を支援する体制を整えます。

○公立高等学校の魅力づくり**予算額 7,560 千円(9,460)**

模擬試験や資格試験の受験費用や通学交通費を助成し、市内公立高等学校を支援します。

○私学振興(拓大・クラーク高校)**予算額 50,376 千円(50,815)**

拓殖大学北海道短期大学による入学生確保に向けた取り組みやミュージカル公演などの地域交流事業を支援し、卒業生の地元定住化を促進します。

また、クラーク記念国際高等学校の特色ある教育活動や地域との交流促進の取り組みを支援します。

○桜山パークゴルフ場維持管理

予算額 58,289 千円(58,404)

本市で合宿を行う陸上競技団体等からの強い要望等を受け、3カ年計画で取り進めてきた桜山パワーアップロードの最終年次の改修を実施するとともに、桜山パークゴルフ場の適正な管理に努めます。

……《 その他の分野 》……

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業】

予算額 55,554 千円(0)

○ICT活用セミナー開催事業

2,904 千円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い「新しい生活様式」が求められ、デジタル化・リモート化が進んでいる中、高齢者やパソコンに不慣れな新社会人などに対してパソコン、タブレット、スマートフォン等のICT活用スキル向上を目的に、セミナーを開催します。

○街なか活性化応援事業

2,100 千円

チケット制店舗周遊イベントの開催を通じて、コロナ禍の影響により売上が落ち込んでいる中心市街地の中小企業・小規模事業者の事業継続を支援します。

○農産物消費拡大対策事業

7,050 千円

新型コロナウイルス感染症により在庫の滞留・価格の低下等を受けた農産物や農産加工品のより一層の消費を促進するため、イベント等による消費拡大対策を実施します。

○感染予防対策店舗等リフォーム促進支援事業

5,000 千円

新型コロナウイルス感染症に対応した店舗のリフォーム工事費、設備導入に係る経費の一部を支援し、感染防止対策としての店舗機能の向上を図ります。

○地域産業雇用確保支援事業

3,000 千円

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、経済力が低下する中であっても、新たに正規雇用を創出するとともに、コロナの影響で離職を余儀なくされた方の早期再就職を促すことにより、市内における恒常的かつ長期的な労働力確保に取り組む企業に対し支援します。

○深川市雇用・売上プロモーションサポート事業

2,500 千円

新型コロナウイルス感染症による影響を受けながらも、雇用促進や販路拡大に取り組み、売上回復を目的とした広告宣伝事業を行う市内事業所を支援します。

○深川市緊急経済対策住宅リフォーム助成事業

30,000 千円

新型コロナウイルス感染対策としての設備改修や内装改修などのリフォームの推進と、地域経済の立て直しや市内事業者の雇用の維持及び事業の継続を支援します。

○合宿誘致促進事業

3,000 千円

本市での合宿PR活動を拡充するとともに、市内で合宿を実施する団体に対し経費の一部を助成し、感染症の影響により減少した合宿数の回復に向けて積極的に取り組みます。

 令和 3 年度

深川市の予算の概要